



お知らせ

MMWIN事務局からのお知らせです

2022年度定時社員総会を開催いたしました

2022年7月27日（水）、MMWIN 2022年度定時社員総会が開催されました。

昨年に続き新型コロナウイルス感染症対策として、会員の皆さまには来場を極力控えていただけるよう書面により議決権を行使いただけるようにし、さらに総会の開催にあたり、会場参加とオンライン参加のハイブリッド開催といたしました。総会では、2021年度決算報告、役員改選、および細則の一部改訂についての承認と、2021年度事業報告、2022年度事業計画ならびに収支予算が報告されました。

開催の概要は以下のとおりです。

日時

2022年7月27日（水）18:30-19:10

場所

リッチモンドホテルプレミア仙台駅前 5F会議室
(仙台市青葉区中央2-1-1)

出席者

議決権のある当法人社員数 400名
出席社員数（委任状による者を含む） 214名

議題

【審議事項】

- (1) 2021年度(令和3年度) 決算の承認について
- (2) 理事および監事の役員改選について
- (3) 会費・利用料細則の改定について

【報告事項】

- (1) 2021年度(令和3年度) 事業報告
- (2) 2022年度(令和4年度) 事業計画
- (3) 2022年度(令和4年度) 収支予算



総会開催の様子（オンライン）

定時社員総会により役員が改選されました。
新役員についてはホームページをご参照下さい。

一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目15番19号

【事務局】

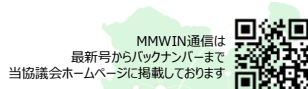
TEL : 022-395-6312 FAX : 022-395-6313

E-mail : office@mmwin.or.jp URL : http://mmwin.or.jp/

【サポートセンター】

TEL : 022-399-6880 E-mail : support@mmwin.or.jp

当協議会からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。
『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。
※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。



MMWIN通信は最新号からバックナンバーまで当協議会ホームページに掲載しております

©2022 MMWIN

全医療・介護・福祉分野、職種が想いをひとつに「オールみやぎ体制」でみやぎをつなぎます



MMWIN® 通信
みんなのみやぎネット® NEWS

2022
9.22
vol. 70

発行：みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

新型コロナウイルス感染症 入院診療における取り組み

宮城県の新型コロナウイルス感染症はまだまだ予断を許さない状態が続いております。2021年1月には、宮城県医療調整本部にて、宿泊療養施設（ホテル）で往診医師が行なったレントゲン検査や血液検査の結果を、MMWINを通じて参照できる仕組みが実装されております。県内においては、ホテルで往診を受けられた方や、感染症指定医療機関にて治療された患者さんの診療情報がMMWINに保存されており、退所、退院後の急な体調変化などの備えとして役立てられています。

栗原市立栗原中央病院では、感染症指定医療機関側が主体となる初の試みとして、2022年5月中旬より新型コロナウイルスで入院された患者さんへMMWINをご案内いただき、もれなく全ての方にご加入いただいております。

今回、この取り組みを推進いただいております呼吸器内科部長兼感染管理室長 宇佐美 修先生より、新型コロナウイルス感染症診療におけるMMWIN活用についてお話を伺いました。

当院では、さまざまな面でMMWINを活用させていただいております。今回はCOVID-19患者さんでの活用例を紹介させていただきます。

ご存じのとおり、COVID-19は、治療後も様々な後遺症が遷延することが知られております。例えば胸部X線写真異常陰影、関節痛、慢性疲労感が長期にわたり残存することがございます。また認知能力の低下や、フレイルの進行、もともとの合併症の悪化なども問題となっております。これらの後遺症は、かかりつけ医にて加療されることもあり、不定愁訴として一般内科を受診されることがあります。



宇佐美 修 先生

この時、患者さんをMMWINに登録しておくことで、過去のCOVID-19発症日、陽性判明日、隔離期間、合併症発生の有無などを遠隔で把握することができます。特に発症日、重症度は後遺症治療の病態把握に重要な情報です。当院では、今後COVID-19入院患者さん全員をMMWINに登録し、退院後に他院を受診した時にCOVID-19経過を参照できるようにする予定です。

さらに、退院サマリーを閲覧できるようにしました。忙しい外来中にCOVID-19治療経過を丹念に追うことは困難です。しかし退院サマリーであれば、現病歴、既往歴、治療経過などがA4で1枚にまとまっておりますので、把握はより容易になると思われます。

先生方の診療の一助になれば幸いです。今後ともよろしくご依頼申し上げます。



第2回保険薬局のためのMMWIN活用講座を行いました

2022年8月25日（木）、宮城県薬剤師会の後援の下、第2回となる保険薬局様をターゲットとした講演会を開催いたしました。今回の講演テーマは、地域基幹病院と保険薬局との情報連携にMMWINがどのように活用できるか、またそのために必要となることや、課題は何かというところに焦点を当て保険薬局、病院薬剤部それぞれの目線においてご講演いただきました。

講演1では、先般よりご案内しております薬業連携ツール（宮城県病院薬剤師会作成）を実際に利用されております日本調剤東北大前薬局の福島岳先生より、ツールの有用性や今後の課題についてご講演いただきました。講演内において、「ファックス誤送信のリスク回避や、文書作成作業の業務負担軽減においてMMWINを利用するメリットがある」、「運用実績数を増やしてさらに効果検証を」というお話でした。

講演2では、みやぎ県南中核病院薬剤部副部長の山寺文博先生より、体調チェックシートのMMWINへの登録方法とその運用、およびMMWINによる情報連携を推進するために必要となること、例えば保険薬局側の利用体制の充実など、さまざまな視点でお話いただきました。今後、情報連携を促進していくために「患者さんの同意取得を病院、保険薬局双方でフォローしていく必要がある」ということをご指摘いただきました。

前回同様、松浦正樹先生に司会進行役を務めていただき、会の冒頭には宮城県病院薬剤師会会長の山田卓郎先生よりご挨拶を頂戴いたしました。



松浦 正樹 先生



山田 卓郎 先生



福島 岳 先生



山寺 文博 先生

最終的に39施設57名にご参加いただき、盛会裏に終わりました。事務局では、引き続き実運用による件数拡大や対象となる地域、拠点の拡大に努め、次回の講演会等にてより精度を高めたサービス評価を皆さまにお伝えできればと考えております。講演会のほか、ホームページ等でも広報活動を行ってまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。



障害者ご家族向けのMMWIN講演会を開催

障害者相談支援事業所ふらっと青葉様のご要請により、仙台市在住の障害者とそのご家族、関係者の皆様を対象としたMMWINについての講演会を行いました。「誰が何のため作ったの?」「どんな時に便利なの?」「手続きはどうするの?」ということから、日頃感じている身近なお困りごとMMWINでどのように解決できるかというようなお話をさせていただきました。

システムの紹介では、専門的な医療用語や機能説明だけでは難解になることから、診療情報がどのように記載されているか、医師や医療スタッフがどのように利用されているかをデモ患者を例に頭部、胸部等の画像の参照や検査情報、処方内容などをシステムを操作しながら見ていただきました。



講演会の様子

患者さんによっては、数十年にわたり診療記録を保存していることから、長期間の病歴を参照することができること、患者本人やご家族に代わり診療する医師の情報把握ツールになることをご説明しました。さらに、在宅医療などの多職種間連携では、訪問診療医師、訪問看護師、薬剤師、作業療法士、ケアマネージャー等の医療・介護関係スタッフが参照システムを利用しながら連携する事例をご紹介させていただきました。

参加者の皆様からは、次のようなさまざまな貴重なご意見をいただきました。

- ◆ サービス内容と加入施設がすぐわかるよう工夫してほしい
- ◆ 医療機関の入り口に、参加施設であることを表示してほしい
- ◆ 高次脳機能障害者は、自分の既往歴の把握が困難でありMMWINカードを持つことは大変有効
- ◆ 県外でもサービス連携できるようにしてほしい

後日、ふらっと青葉様からお礼状をいただきました。これからも、講演や説明会等のご要請がございましたら喜んで対応させていただきます。皆様からのご連絡をお待ちしております。



—令和4年度 ふらっと青葉 自立生活プログラム—

病气や薬のことが良く分からない方にも 安心の仕組み 「エムエムウィン」

いるんな病気で、あちこちの病院に通う時「何の病気で、どんな薬を飲んでいるか、説明を聞いても十分理解することは、なかなか難しい」と思いませんか。
自分のこれまでの病気や検査の結果、また、飲んでる薬の内容について、他の病院へ説明するのは、とても大変ですが、そんな場合にも安心な「エムエムウィン」という仕組みがあります！（国の支那事業で設立されました。）今回は、「誰が何のため作ったの?」「どんな時に便利なの?」「手続きはどうするの?」といった、「エムエムウィン」の内容について、分かりやすくお知らせする、やさしい勉強会を開催します。
病院を診察されている方、ご家族様、関係者の方、どなたでも参加できますので、お問い合わせ、お申し込みをお待ちしております。

日時 令和4年7月21日(木) 13:30~14:30

会場 青葉区中央市民センター 2階 第1会議室
(青葉区一番町2丁目1-4)
※地下鉄東西線青葉通一番町駅 南1出口徒歩数分

内容 「エムエムウィン」(みやぎ医療福祉情報ネットワーク)の説明

定員 20名(先着順) 参加費 無料

申込受付 令和4年7月1日(金)9:00~

申込み問合せ(下記までお電話を)
ふらっと青葉 TEL265-5320

マスク着用をお願いします。